

同窓会だより

発行所／大阪府立大学社会福祉・教育福祉同窓会 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 電話(072)254-9781 松田研究室

発行人／西島和徳 編集人／松田博幸 随筆／花田順信氏(1期生)

第15号

第16回社会福祉・教育福祉同窓会、記念講演会、懇親会
〜土井洋一先生をお迎えします〜

大阪社大から今日につながる、そして未来へ

社会福祉・教育福祉同窓会会長 西島和徳

最初に6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震等各地での大災害で苦難を強いられている同窓生、家族、関係の皆様は心からお見舞い申し上げます。大阪北部地震では当該地域にお住まいの恩師のところに同窓生の皆さんが直接駆けつけ支援をされたり、多くの電話をいただいたということもかがつております。その行動、そのお気持ち

をたいへん嬉しく思います。さて、この度、大阪社会事業短期大学校歌の音源を松田先生(同窓会事務局、教育福祉学類教員)が「復活」させてくれました。同窓生の皆さんから楽譜や音源の問い合わせがあつたとのこと、その期待に応えていただき、たいへんありがたく思います。

あらためて歌詞をその音源に重ね合わせ、夕陽の丘の学び舎を背景にイメージし、先輩方が歩んでこられた道を、同窓会等の場を通して、学び知り追体験しようとすることはたいへん貴重です。ぜひ、

卒業生の多くの皆さんにご参加いただけることを呼びかけるものです。つなぐていないようでもつながっている、温故知新と言いますが、真に過去に学び未来に活かす、つながるということを意識して生きるということが強く求められている。いや、人類史上の現代に生きる私たちはそのミッションを既にしようとしていると意識し、そしてつなぐていことはどういふことを自覚しな

いと、未来永劫の地球というのはあり得ないのではないかと思えてくるのです。処理できない核のゴミ、いまだ世界中に約1万発(2014年朝日新聞デジタル)もある核兵器、温室効果ガス(二酸化炭素等)がもたらす地球温暖化による海面上昇・洪水・干魃・酷暑・台風などの異常気象、マイクロプラスチック海洋汚染等、人類史的に見れば現代に生きる私たちがその多くを「人為的」に造り出し、あるいは廃棄したものである恐怖であり、これからの

人類を未来永劫苦しめ続ける可能性が極めて高いものである以上、今「遮断」しなければ、地球もちろん人類、あらゆる生命体はつながらないと考えるからです。大阪社会事業短期大学の校歌にある「われらいま世界を思う」「しあわせをすべてのひとと ああ大阪社大 未来の力」「しあわせをすべてのひとと ああ大阪社大 平和の力」と生命力ある詞と曲に共鳴しながら、そのような思いが湧きあがってきました。

私どもの学び舎も大阪社大、大阪府立大学社会福祉学部社会福祉学科、同人間社会学部社会福祉学科、同地域保健学域教育福祉学類そして同大学院博士前期・後期課程と、変われどもつながってきていると思います。皆様につながってきたいだいたと思えます。

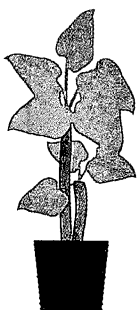
この4月7期生を迎えた教育福祉学類生、3月に(3回目)卒業式、今回は「卒業記念パーティー」にも参加させていただきましたが、主体性・社会性・創造性(私はこの

三点が生き方として大切だと思っている)を、いずれも兼ね備え成長していると感じる皆さんばかりで、たいへん嬉しく、また頼もしく感じました。今後、「大阪市立大学との統合」といった大きな課題が押し寄せて来ますが、これらの力は受け継がれていくと確信するとともに、同窓会としてもその学び舎がきちんとつながっていくよう努力していく、学生を応援していくという立場でのぞんでまいります。

今回の記念講演会は主に社会福祉学部時代に奮闘された(1984年4月赴任〜2006年3月退官)土井洋一先生に、「教育福祉」とは?、というテーマ(レジュメについては別頁記載)でお話しいた

だきます。土井先生のゼミ生の方はもちろんのこと、「教福」卒業生・在校生の皆さんもぜひご参加ください。

さい。



大阪府立大学社会福祉・教育福祉同窓会 2018年度・第16回同窓会のご案内

日時 2018年**12月9日**(日) 12時～16時15分

場所 大阪府立大学 I-siteなんば
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル2階
TEL06-7656-0441(代表)

内容 [第1部] 総会

記念講演 土井 洋一 先生

「教育福祉」とは？

1. 教育福祉論の胎動
2. 分野としての意味
3. 制度としての意味

[第2部] 懇親会 大阪社会事業短期大学校歌の合唱など

会費 第1・2部の参加者 5,000円(在学同窓生は1,000円)

第1部のみの参加者 無料(在学同窓生も無料)

第2部のみの参加者 5,000円(在学同窓生は1,000円)

※会費は当日会場受付けで徴収いたします。

参加申し込み方法について

同窓会の会計は、厳しい状況が続いています。そこで、経費節減のため、ハガキに代え、本誌背面を用いてファックス等で出欠をお知らせいただくことにしました。お手数をおかけしますが、事情をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

ご回答の方法に関わらず、寄せていただいた近況報告は同窓会参加者が閲覧できるようにさせていただきますので、お含みおきください。

なお、11月9日(金)までに本誌背面記載の宛先にご回答ください(厳守)。

当日のプログラム

11時30分 受付開始

[総会] 12時～12時45分

あいさつ 事業報告 会計報告 役員改選 規約改正 その他

[記念講演会] 12時45分～14時15分

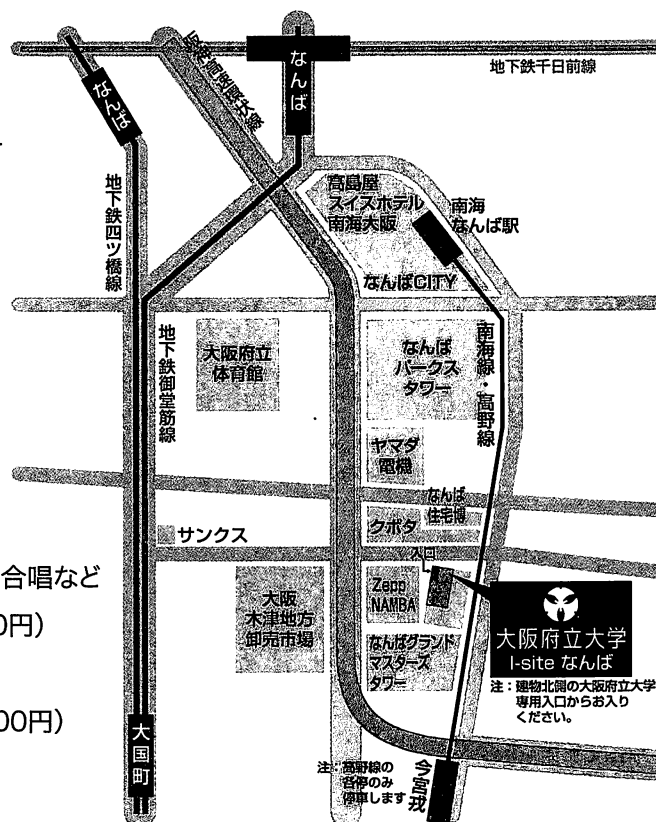
土井 洋一 先生 「教育福祉」とは？

[懇親会] 14時25分～16時15分

あいさつ 乾杯 スピーチ 記念撮影 校歌合唱 その他

備考 出席の返事をされた方は、当日キャンセルしないでください。

とくに懇親会は費用がかかりますので大変困ります。参加費は当日、受付で徴収します。



教育福祉学類は、いま

同窓会のみなさま、教育福祉学類となり7年目を迎えました。すでに3回の卒業式を経て、教育福祉学類としての歴史も少しずつ積み上げてきています。

そうした中で、教育福祉学類の今後に関わる大学全体の動きとして、大阪市立大学との統合があります。これは、法人レベルの統合と大学自体の統合という2段階で設定されています。法人統合については、来年2019年の4月に行われます。ただし、この時点では1法人2大学というかたちであり、経営面の統合が中心で、教育福祉学類を含む教育学面での影響はほとんどないと考えられます。しかし、その先、2022年4月に大学統合が予定されています。これはまさに大阪府立大学と大阪市立大学を一つの大学にするものであり、キャン

パス問題も含めて大きな変化があります。ただし大学統合については、現時点で具体的な内容は示されておらず、どのように進むのか明確でない部分があります。どのような状況になります。せよ教育福祉学類として最良の選択を求めてまいります。

このように中・長期的には不透明な面もありますが、現在の取り組みとしては着実に歩を進めています。今年度は保育の領域でおふたり、ジェンダー領域でおひとり、合計3人の新しい先生をお迎えしています。これによりこれまでの伝統である保育士養成をしつかりと継続する体制ができました。また、教育福祉学類のキーワードともいえる多様性にかかわるジェンダー、セクシュアリティ研究の教員も充実してきています。

教育福祉学類は、もともと

福祉・教育・保育という柱を持つっており、それぞれの領域を超えて、学際的に、あるいは融合的に学べるようになっていきます。福祉のことが分かる教員や保育士、教育的視点を持てる福祉従事者を育てています。しかし、そればかりではなく、教育福祉学類が属する地域保健学域には、看護学類と総合リハビリテーション学類があります。この3つの学類の学生がともに学び、コラボレーションする授業も実施されています。さまざまな専門職と連携できる多様な視点を持つ支援者の養成を進めるための機会、授業が次第に定着してきています。

こうした環境で育つ学生からは、主体的な提案や活動が生まれてきます。「同窓会だより」でも紹介されてきた新入生歓迎行事のほか、オープンキャンパス、卒業式等での学生主体に

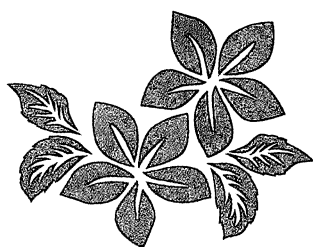
よる企画があります。今年度からは、広報活動にも学生有志が積極的にかかわり始めています。社会福祉学科時代から継続している、障害をもつ人たちへ生涯教育の場を提供する「オープンカレッジ」は、昨年、文部科学大臣からの表彰を受けました。これも学生たちが自らつくり上げてきたものです。

これらの取り組みの結果、少しずつではありますが教育福祉学類の認知が広がり始めていくように思います(もちろん、いまだに大阪府立大学には理系しかないと思っていたという声もあります)。例えば近年、入試の倍率も上がってきており、毎夏に開催されるオープンキャンパスも多くの高校生や保護者が訪れるようになりました。もちろんこれらは学類の力だけでなく、みなさまのご理解、ご支援が大きいところだと

考えています。同時に、教育福祉というアプローチが、格差が進む今の社会に求められている側面もあるのではないかと思います。こうした動きをより着実なものとしてまいります。

同窓会のみなさまのこれまでのご支援に感謝申し上げます。同時に、はじめに示しましたように大学として転換期を迎えつつあることもご理解いただき、より一層のご関心、ご協力を教育福祉学類に寄せていただきますよう、よろしくお願いたします。

教育福祉学類長 小野達也



大阪府立大学社会福祉・教育福祉同窓会 会計報告

■2014年度(平成26年度)

(収入の部)

摘要	金額(円)	備考
前年度繰越金	643,643	
預金利子	181	
寄付金	5,000	
平成26年度新入生終身会費	390,000	39名分
終身会費	10,000	卒業生2名分
第13回総会会費	80,000	総会会費(4000円×20名)
卒業式写真代負担金	100	非会員分
校友会だより掲載料	10,000	
合計	1,138,924	

(支出の部)

摘要	金額(円)	備考
通信連絡費	2,712	切手代、郵送料
印刷製本費(会報・総会案内状)	727,510	プリンティングサービス支払
総経費	71,798	講師車代、懇親会費
平成26年度卒業生記念品費	3,420	卒業式写真プリント代
卒業式出席者交通費	2,000	
合計	807,440	

総収入	1,138,924円
総支出	807,440円
繰越金	331,484円

■2015年度(平成27年度)

(収入の部)

摘要	金額(円)	備考
前年度繰越金	331,484	
預金利子	81	
平成27年度新入生終身会費	340,000	34名分
卒業式写真代負担金	681	非会員分
合計	672,246	

(支出の部)

摘要	金額(円)	備考
平成27年度卒業生記念品費	2,660	卒業式写真プリント代
通信連絡費	1,476	切手代
合計	4,136	

総収入	672,246円
総支出	4,136円
繰越金	668,110円

上記の通り報告いたします。平成28年3月31日 会計 出原 章乃 薬師寺 順子

第15回同窓会報告

2016年11月27日(日)、大阪府立大学 I・site において、正午より、第15回同窓会が開催されました。奈倉道隆先生をお招きし、「生きるということとはどういうことなのか」という演題で記念講演がございました。先生が問われる講演でし

た。時間が限られているのが残念でした。講演会の後は、I・site 先生にも参加していただき、懇親会が開かれました。和やかな雰囲気での参加者が交流しました。



大阪府立大学 ホームカミングデー2018

“府大×OSAKA×ミライ”

2018年11月4日(日) 中百舌鳥キャンパス



(校友会サイトURL)

母校(母港)でお待ちしております。詳細および参加お申し込みは

校友会サイト<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp> (右上のQRコード)、あるいはメール、お電話で。

第1部: 記念講演会(9時45分~11時45分)

会場: Uホール白鷺(C5棟)

内容:

辻学長挨拶

講演1「電動化・知能化・情報化によるクルマの変革」

トヨタ自動車(株) 常勤監査役 香川佳之氏

(工学部機械工学科1983年卒)

講演2「博覧都市大阪1970年大阪万博から

2025年国際博覧会に向けて」

研究推進機構教授/観光産業戦略研究所長

橋爪紳也先生

第2部: ウェルカムパーティー(12時15分~14時15分)

会場: 体育館内特設会場(C12棟)

会費: 3,000円(コンビニからの事前振込)

払込締切10/23(火)

主な内容:

ビジネスアイデアコンテスト表彰式、教育・研究成果の一例紹介、応援団による演舞、混声合唱団エヴァコールによる学生歌合唱、併設展示(クラブ、各種団体、地域同窓会)



ホームカミングデー事務局



Tel: 072-254-8143 Mail: office@opucr.osakafu-u.ac.jp

大阪社会事業短期大学校歌について

同窓会の懇親会で歌いませんか

本同窓会の事務局を担当して

いる松田博幸と申します。大阪府立大学(以下、府大)社会福祉学部

の1期生です。教育福祉学類で

教員をしております。少し前に、

府大の全学同窓会である校友会

の事務局経由で、大阪社会事業

短期大学(以下、大阪社大)の卒

業生の方から、校歌の楽譜あるい

は音源がないかという問い合わせ

があり、対応させていただきまし

た。同じように楽譜や歌詞を探し

ておられる卒業生の方がたは多い

のではないかと思いました。ペー

ジ下に書かれているインターネッ

トのサイト(大阪府立大学学術情

報リポジトリ)から歌詞と楽譜

(ピアノ譜)をダウンロードできま

す。どこからでもアクセスできま

すので、ぜひ活用ください。

なお、大学には、楽譜(手書きの

ピアノ譜、芥川也寸志さんの直筆

かどうかは未確認)や歌詞(小野

十三郎さんの直筆ではないかと

思われます)が保管されています。

ご覧になりたい、あるいは、同期会

などで展示したいという希望があ

りましたら、同窓会事務局まで連

絡をいただければと思います。

私が大学の1年生のとき

(1981年度)、大阪社大の2

年生の人たち(つまり、最後の入

学生の人たち)が教室にやってこ

られ、私たち社会福祉学部1期

生は、その先輩方から大阪社大の

校歌を教えていただきました。み

んなで一緒に歌いました。先輩に

あたる私たちに校歌を残したい

という思いから、そのような場を

もたれたのだと思います。そのお

かげで、私は今でも歌うことがで

きます。

小野十三郎さんの歌詞は美し

いものですが、それだけではなく、

社会事業・社会福祉の深い理念が

盛り込まれているところがすば

らしいと思ってきました。私は、と

りわけ、「しあわせをすべてのひと

と」となっており、「すべてのひと

と」ではないところにいたく感動

します。

このたびの同窓会において、参

加者でその校歌を歌うことはで

きないだろうかと思ひ、ピアノ譜

をもとにパソコンで伴奏の音源を

作りしました。生演奏にはかないま

せんが、懇親会の場で披露させて

いただき、みんなで校歌を歌いた

く思います。芥川也寸志さんとい

えば、オスティナート(同じ音型

を繰り返す作曲技法)を取り入

れた曲を作られたことが知られ

ており、それが師である伊福部昭

さんの影響だとされていますが、

この校歌においてもピアノ伴奏の

左手の音型がオスティナートに

なっており、躍動感、もつと言え

ば生命力の源になっています。かつ、

均整のとれた美しい曲だと思います。

歌詞、曲ともにすばらしいもの

であり、遺産として受け継がれ、

歌い継がれるべき歌だと思いま

す。ちなみに、昨年(2017年)4月に「芥川

也寸志の団体歌」というコンサ

ートが東京で開催されたようですが、

チラシを見ると、演奏予定曲目に

大阪社大の校歌が入っていました

た。「伊福部昭の団体歌」というC

Dが出されていますが、芥川也寸

志さんの団体歌もCDに収めら

れ、そしてその中に大阪社大の校

歌が入ることを望んでいます。

大阪社会事業短期大学校歌

作詞 小野 十三郎
作曲 芥川 也寸志

ゆく雲は白くかがやき
木もれ陽(び)のたゆとうところ
そびえたつわが學(まな)び舎
映えわたる巷(まち)をのぞみて
われらいま世界をおもう
大いなる目ざめの時よ、呼ぶ声よ
あいよりて誓(ちか)いは固く
しあわせをすべてのひとと
ああ 大阪社大 未来の力

遠海(とおうみ)は淡(あわ)く波立ち
一つ星きらめくところ
しずかなり夕陽の丘
くれなずむ天を仰ぎて
われらいま世界をおもう
大いなる門出(かど)の時よ 呼ぶ声よ
あいよりて希望(のぞみ)は高く
しあわせをすべてのひとと
ああ 大阪社大 平和の力

第16回 同窓会出欠用紙

- ファックスの場合／072-254-9781 までご返送ください。
- 電子メールの場合／同じ内容をmatsuda@sw.osakafu-u.ac.jpまでご返送ください。
- 郵送の場合／出欠用紙を封書で出欠用紙の宛名までご返送ください。出欠用紙の一番下の部分を切り取って宛名シールとしてお使いください。(82円切手をお貼りください。)

大阪府立大学社会福祉・教育福祉同窓会 第16回同窓会
12月9日(日)

出欠締切 11月9日(金)

◇ 総会と講演会 (出席 ・ 欠席)

◇ 懇 親 会 (出席 ・ 欠席)

(いずれかに○印をおつけください)

なおこの部分より下を、そのまま印刷して、当日、参加される方々が読むことができるようにする予定です。
開示したくない情報が含まれる場合は、その旨をお書き添えください。その部分は事務局にとどめ、公開は控えさせていただきます。

氏名 旧姓()

卒業年 昭和 ・ 平成 年3月卒業 (学科:)

住所 〒

電話

勤務先

電話

近況報告

〒599-8531 堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類 松田研究室
社会福祉・教育福祉同窓会事務局 あて